

# 栗原市の基本情報



ねじりほんによ



人口	60,887 人
65歳以上人口	26,036 人
高齢化率	42.8 %
面積	805 km <sup>2</sup>
日常生活圏域	10 圏域
生活支援体制整備事業	10 地区
地域包括支援センター	5 か所(委託)
認定率	21.2 %

R6.8.31時点

2005年に、築館町、若柳町、栗駒町、高清水町、一迫町、瀬峰町、鶯沢町、金成町、志波姫町、花山村の栗原郡10町村が合併し「栗原市」が誕生。  
県内最大の面積で、8割近くを森林や原野、田畑で占める自然豊かな田園都市。

# 栗原市の目指す姿とは

## 第9期 栗原市介護保険事業計画

### ●基本理念

生涯健やか ころも豊かに 互いにいたわる まちづくり

### ●基本目標

- 1 生涯にわたる健康と生きがいづくりの推進
- 2 地域における包括的な支援体制づくり
- 3 認知症への支援・尊厳を守る取組の推進
- 4 高齢者が安心して暮らせる地域づくり
- 5 介護保険制度の健全かつ円滑な運営

### ●重点施策

- 1 自立支援・介護予防・重度化防止の推進
- 2 多様な介護予防・日常生活支援の推進
- 3 医療・介護の連携推進
- 4 認知症施策の推進

# 生活支援体制整備事業の取組状況

## 生活支援コーディネーターの配置

◆第1層生活支援Co： 1人（栗原市市民生活部介護福祉課職員）

◆第2層生活支援Co： 10人（栗原市社会福祉協議会へ委託）

※日常生活圏域（社会福祉協議会支所各10ヶ所）に1人ずつ配置

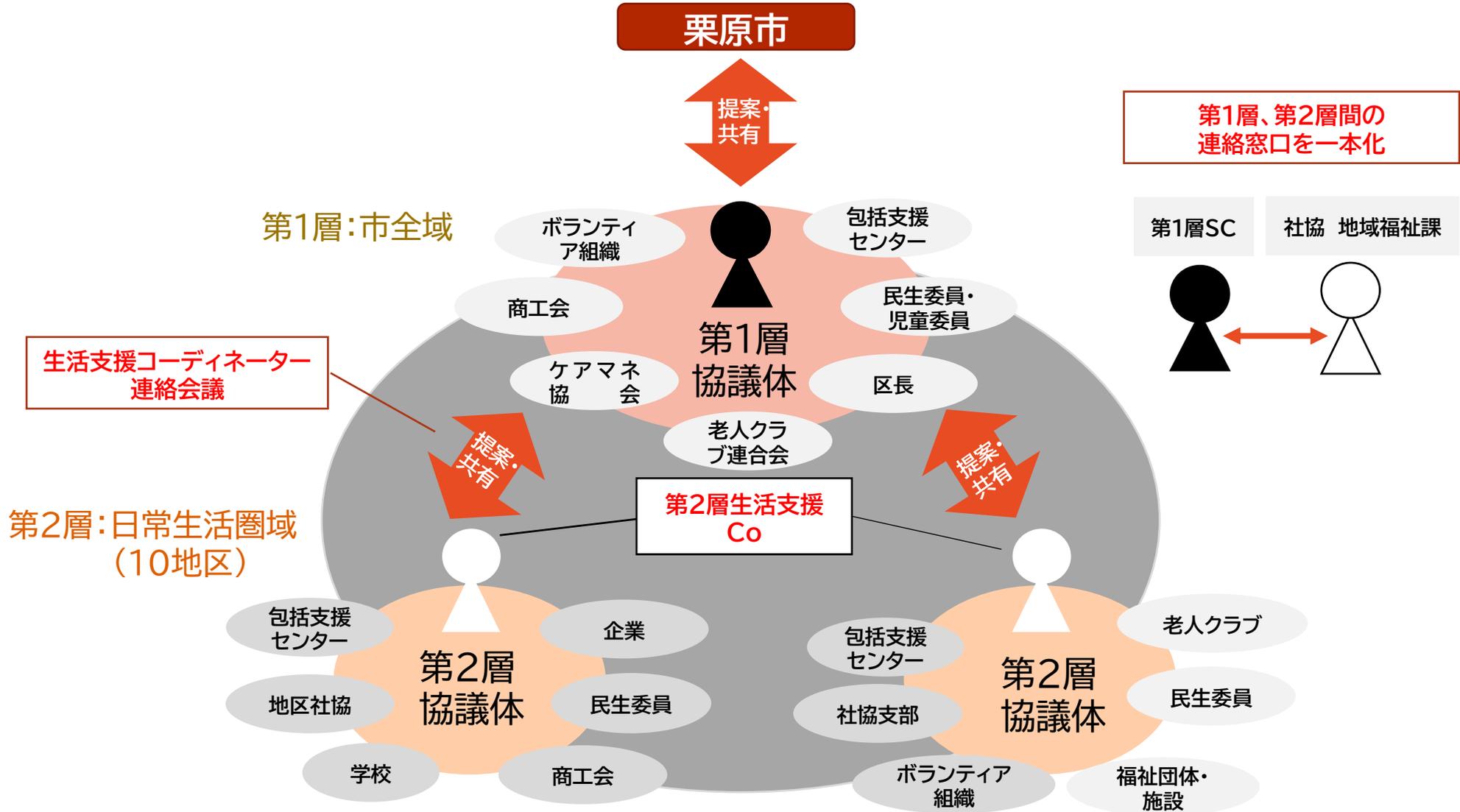
## 協議体の設置

◆第1層協議体：市直営（平成29年設置要綱の制定）

◆第2層協議体：栗原市社会福祉協議会に委託（平成30年から）

# 栗原市 協議体イメージ図

高齢者の日常生活支援と社会参加の一体的な推進



# 協議体について

## 栗原市地域支え合い推進会議（第1層協議体）

- ◆メンバー 区長、老人クラブ、社協、農協、商工会、生協、民生委員、ボランティア連絡協議会、日本郵便、ケアマネ協会、認知症カフェ、地域代表、包括支援センター
- ◆任期・委嘱 2年任期、委嘱あり
- ◆開催頻度 年3回

## 栗原市地域支え合い地区推進会議（第2層協議体）

日常生活圏域 10ヶ所

- ◆メンバー 社協支部、地区社協、区長、民生委員、警察、農協、郵便局、包括支援センターなど
- ◆任期・委嘱 特になし
- ◆開催頻度 年3～4回

※ 第1層協議体と第2層協議体が双方向でやりとりできるよう、交互に開催しています。

(第1回)第2層協議体 ⇒ (第1回)第1層協議体 ⇒ (第2回)第2層協議体 ⇒ (第2回)第1層協議体…

提案・  
共有

提案・  
共有

提案・  
共有

# これまでの経過

平成29年度	第1層生活支援コーディネーターの配置、第1層協議体の設置 (第1層:栗原市全体に関すること)
平成30年度	第2層生活支援コーディネーターの配置、第2層協議体の設置 (第2層:各地区に関すること)
令和元年度	くりはらのお宝「地域支え合い活動発表会」の開催
令和2～3年度	地域におけるコロナ禍での創意工夫の把握など
令和4年度	事業振り返り、組織体制・事業方針の整理
令和5年度	栗原市生活お役立ちガイドブック作成、ケアマネジャー等への事業周知
令和6年度	栗原市生活お役立ちガイドブックの活用、 介護予防事業との連携に向けた取り組み



コーディネーター活動、  
支え合い推進会議の運営

# 協議体の取り組み(経緯)

第1層協議体と第2層協議体の連携・連動ができていなかった・・・

令和4年度 事業の振り返り、組織体制・事業方針の整理

⇒第1層と第2層「**双方向**」でやりとりしながら進めていくこととなる。

⇒協議体委員の声で、「様々な情報はあるが、どこに相談すればよいか分からない」という意見が多いことが分かった。

介護福祉課内(第1層事務局)で、

「今できることとして、生活支援Coが集めた地域の通いの場や生活支援の情報を一覧にできると良いのではないか…」

協議体委員の力を借りながら、協議体で一覧を作り上げられないか。

事務局案として協議体に提案

# 協議体の取り組み(経過)

ガイドブックを作成するにあたって、第1層と第2層の協働が必要。

## ガイドブック作成ワーキンググループ 立ち上げ

### 【ワーキングメンバー】

- |                  |    |
|------------------|----|
| ・第1層生活支援コーディネーター | 1名 |
| ・第2層生活支援コーディネーター | 2名 |
| ・社会福祉協議会職員       | 1名 |

### ◆協議の流れ

ワーキング⇒生活支援Co連絡会議⇒第2層協議体⇒第1層協議体

※繰り返す

# 協議体の取り組み(成果物)

「栗原市生活お役立ちガイドブック（仮称）」作成要項

## 1 目的

地域の高齢者等から、社会参加や交流に関する事、または生活支援に関する事について相談を受けた地域のリーダーやケアマネジャーなどが、「栗原市生活お役立ちガイドブック（仮称）」を活用し、各種活動団体等を案内することにより、高齢者が各種活動団体等と繋がることで、高齢者の社会参加による介護予防や地域の支え合いを推進することを目的とする。

協議体の声から、  
自治会長を追加した

## 2 配布対象者

行政区長、民生委員・児童委員、自治会長、地区社会福祉協議会会長、  
地域支え合い推進会議構成団体・委員、ケアマネジャー、介護サービス事業所等

## 3 周知方法

2の配布対象者に「栗原市生活お役立ちガイドブック（仮称）」の使い方について、説明を行った上で配布する。

協議体の声から、  
市ホームページや  
総合支所窓口にも設置した

## 4 掲載内容

○巻頭ページ（事業概要、使い方等）

(1)『社会参加・交流に関する情報』

①交流・趣味の場 ②運動の場 ③ボランティア活動

→ 第2層SC作成

(2)『生活支援に関する情報』

①家事支援 ②外出支援 ③買い物支援 ④見守りサービス

→ 第1層SC作成

(3)『その他』

→ 第1層SC作成

・情報ページ（行政サービス、各種相談窓口、各種マップ紹介）

※毎年、情報の見直しや確認を行いリニューアルする。（年1回更新）

# 作成スケジュール

## 栗原市 生活お役立ちガイドブック



栗原市市民生活部介護福祉課  
栗原市社会福祉協議会  
栗原市地域支え合い推進会議(第1層協議体)  
栗原市地域支え合い地区推進会議(第2層協議体)

【栗原市生活支援体制整備事業】  
令和6年3月発行

### 市ウェブサイト



栗原市ホームページ  
で公開しています！

要項・スケジュール  
検討

情報整理

まとめ

月	ワーキング グループ(随時)	生活支援 コーディネーター	第2層協議体	第1層協議体
2月	要項(案)、作成スケジュール作成		R4第3回(第4回) 要項(案)、作成スケジュールの共有	R4第3回 要項(案)、作成スケジュールの共有
3月				
4月		SC連絡会議 (小項目(案)確定)	R5第1回 要項(案)、作成スケジュールについて協議	
6月初旬				R5第1回 要項(案)、作成スケジュールについて協議
	要項、スケジュール確定 SCへ情報提供依頼	SC連絡会議		
7月～ 8月末		掲載情報の整理 (掲載許可の確認)		
9月	1次素案確認 (9/11～9/15)	情報集約、整理 (～9/8まで提出)		
10月		SC連絡会議 (1次素案確認)		
10月中旬			R5第2回 1次素案について	
～10月末		第2層協議体報告書提出		
11月				R5第2回 1次素案について
1～2月			R5第3回 2次素案について	
2月上旬・3月中旬				R5第3回 2次素案について
3月	最終校正・発行			
4月	配布	活用方法の周知		

# 協議体の取り組み(苦労・工夫したこと)

## 苦労したこと

- ① 協議体委員のやりがい、モチベーションの維持
- ② 第2層協議体(10地区)と第1層協議体が共通認識をもって、協議を進めること。

## 工夫したこと

- ① ・協議体委員の力をお借りした。  
(掲載することによって、商売に偏りが出ないように、協議体委員の商工会に相談した。)  
・協議体委員のやりがいにつながるよう、協議体で出た意見に対するフィードバックを丁寧に行った。
- ② 生活支援Co全員が協議体で同じ説明ができ、足並みを揃えて協議できるよう、共通の説明資料を作成した。

第2層生活支援Coから...

# 協議体の取り組み(成果)

## ●ガイドブック作成後の展開

ガイドブックの配付と併せて、事業周知を行った。

### 【周知方法】

- ・行政区長・民生委員児童委員の定例会での説明
- ・生活支援Co・ケアマネジャー合同研修会の開催
- ・市広報での特集記事掲載

など

### <現時点の成果…>

- ・これまで生活支援Coとのつながりが少なかったケアマネジャーからの問合せが増えてきた。
- ・市広報を見た住民から生活支援Coに問合せがあり、実際に地域の活動への参加につながった。
- ・ガイドブックを活用することで、生活支援Coが他地区の活動の情報提供ができるようになった。

**少しずつ、成果が見えてきた…**

# 協議体の取り組み(成果)

## ●その他 協議体から生まれた良い効果

### ・「交通」をテーマとした協議から…

市民バス試乗会やタクシー利用助成券利用の寸劇に取り組み、委員自身が体験。

→ 協議体委員が地域に戻ってから、自発的に得た情報を住民に広めている。



### ・事例紹介から…

移動販売車の前後の時間に、来れる人だけ集まる。

→ 協議体で事例を紹介すると、「やってみようかな」と他地区で集いの場が立ち上がった。



# 今後取組みたいこと

- ・栗原市生活お役立ちガイドブックの活用  
(ケアマネジャー、住民等への周知)
- ・栗原市生活お役立ちガイドブックの改善、更新  
ガイドブックの成果を逃さずひろう。
- ・ケアマネジャーとの連携、関係性づくり
- ・介護予防事業との連携

⇒ ニーズと地域資源がマッチングする機会を増やす。

## 令和6年度協議体テーマ

第1層協議体:地域ケア会議から見えた地域課題について  
テーマ「ゴミ出し支援について」

第2層協議体:各地区テーマ **※双方向でやりとりしながら開催**